

RHEOBYK-R 607

親水性ヒュームドシリカやクレ－添加剤との併用でチキソ性を向上させる無溶剤型および溶剤型向けレオロジーコントロール剤

製品データ

組成

アミン官能基を有するオリゴアミドの溶液

一般性状

本データシートに記載した数値は代表値であり、品質規格ではございません。

密度 (20°C):	0.98 g/ml
屈折率 (20°C):	1.517
粘度:	20000 mPa·s

適用分野

常温硬化系

特長

RHEOBYK-R 607は親水性フュームドシリカあるいはクレ－添加剤などの固形チキソ剤のチキソ性を向上させるレオロジーコントロール剤です。本添加剤により、チキソ剤により形成される網目構造が強化されるので、アミン系硬化剤を添加したときにみられる構造破壊が起こりません。RHEOBYK-R 607により、親水性ヒュームドシリカあるいはクレ－添加剤を単独で2液エポキシ系に使用することができます。RHEOBYK-R 607を使用する場合、エポキシ樹脂に疎水性ヒュームドシリカ、硬化剤に親水性ヒュームドシリカを添加しなくても高厚膜構造が得られます。本添加剤は硬化剤に添加することもできます。チキソ剤とRHEOBYK-R 607との水素結合により自発的な増粘効果が得られます。現在では、塗装性能を損なうことなく安価な親水性の焼成ヒュームドシリカまたはクレ－添加剤が使用できます。そのため、原材料コストが自動的に削減され、また製品の品質が向上します。

推奨用途

エポキシ樹脂	<input checked="" type="checkbox"/>
ウレタン系	<input type="checkbox"/>
アクリル系	<input type="checkbox"/>

■最適 □適

推奨添加量

親水性の焼成ヒュームドシリカおよびクレー添加剤の含有量に対して添加剤として20-80 %

上述の推奨添加量は初期値としてご利用下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定して下さい。

添加方法

RHEOBYK-R 607はアミン系硬化剤に添加して下さい。アミン硬化剤に親水性ヒュームドシリカまたはクレー添加剤が含有されている場合には、添加剤の添加量を計算するときに考慮して下さい。

特記事項

RHEOBYK-R 607が有効なのは親水性ヒュームドシリカおよびクレーシリケートに添加する場合です。添加剤の添加量はアミン系硬化剤に依存します。

塗料**特長**

RHEOBYK-R 607は親水性ヒュームドシリカあるいはクレー添加剤などの固形チキソ剤のチキソ性を向上させるレオロジーコントロール剤です。本添加剤により、チキソ剤により形成される網目構造が強化されるので、アミン系硬化剤を添加したときにみられる構造破壊が起こりません。RHEOBYK-R 607により、親水性ヒュームドシリカあるいはクレー添加剤を単独で2液エポキシ系に使用することができます。RHEOBYK-R 607を使用する場合、エポキシ樹脂に疎水性ヒュームドシリカ、硬化剤に親水性ヒュームドシリカを添加しなくても高厚膜構造が得られます。本添加剤は硬化剤に添加することもできます。チキソ剤とRHEOBYK-R 607との水素結合により自発的な増粘効果が得られます。現在では、塗装性能を損なうことなく安価な親水性の焼成ヒュームドシリカまたはクレー添加剤が使用できます。そのため、原材料コストが自動的に削減され、また製品の品質が向上します。

推奨用途

防食塗料	<input type="checkbox"/>
建築塗料	<input type="checkbox"/>
一般工業用塗料	<input checked="" type="checkbox"/>

■ 最適 □ 適

推奨添加量

親水性の焼成ヒュームドシリカおよびクレー添加剤の含有量に対して添加剤として20-80 %

上述の推奨添加量は初期値としてご利用下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定して下さい。

添加方法

RHEOBYK-R 607はアミン系硬化剤に添加して下さい。アミン硬化剤に親水性ヒュームドシリカまたはクレー添加剤が含有されている場合には、添加剤の添加量を計算するときに考慮して下さい。

特記事項

RHEOBYK-R 607が有効なのは親水性ヒュームドシリカおよびクレーシリケートに添加する場合です。添加剤の添加量はアミン系硬化剤に依存します。

接着剤

特長

RHEOBYK-R 607は親水性フュームドシリカあるいはクレー添加剤などの固形チキソ剤のチキソ性を向上させるレオロジーコントロール剤です。本添加剤により、チキソ剤により形成される網目構造が強化されるので、アミン系硬化剤を添加したときにみられる構造破壊が起こりません。RHEOBYK-R 607により、親水性ヒュームドシリカあるいはクレー添加剤を単独で2液エポキシ系に使用することができます。RHEOBYK-R 607を使用する場合、エポキシ樹脂に疎水性ヒュームドシリカ、硬化剤に親水性ヒュームドシリカを添加しなくても高厚膜構造が得られます。本添加剤は硬化剤に添加することもできます。チキソ剤とRHEOBYK-R 607との水素結合により自発的な増粘効果が得られます。現在では、塗装性能を損なうことなく安価な親水性の焼成ヒュームドシリカまたはクレー添加剤が使用できます。そのため、原材料コストが自動的に削減され、また製品の品質が向上します。

推奨用途

エポキシ樹脂系反応性接着剤

推奨添加量

親水性の焼成ヒュームドシリカおよびクレー添加剤の含有量に対して添加剤として20-80 %

上述の推奨添加量は初期値としてご利用下さい。最適添加量は実際に試験を行い、決定して下さい。

添加方法

RHEOBYK-R 607はアミン系硬化剤に添加して下さい。アミン硬化剤に親水性ヒュームドシリカまたはクレー添加剤が含有されている場合には、添加剤の添加量を計算するときに考慮して下さい。

特記事項

RHEOBYK-R 607が有効なのは親水性ヒュームドシリカおよびクレーシリケートに添加する場合です。添加剤の添加量はアミン系硬化剤に依存します。

RHEOBYK-R 607

Data Sheet
Issue 01/2021

ビックケミー・ジャパン株式会社
本 社: 東京都新宿区市谷本村町3-29
大 阪: 大阪市北区堂島浜1-4-4
www.byk.com/jp



Additive Guide



BYK-Chemie GmbH
P.O. Box 10 02 45
46462 Wesel
Germany
Tel +49 281 670-0
Fax +49 281 65735

info@byk.com
www.byk.com

ACTAL®, ADD-MAX®, ADD-VANCE®, ADJUST®, ADVITROL®, ANTI-TERRA®, AQUACER®, AQUAMAT®, AQUATIX®, BENTOLITE®, BYK®, BYK®-DYNWET®, BYK®-MAX®, BYK®-SILCLEAN®, BYKANOL®, BYKETOL®, BYKJET®, BYKO2BLOCK®, BYKOPLAST®, BYKUMEN®, CARBOBYK®, CERACOL®, CERAFAX®, CERAFLOUR®, CERAMAT®, CERATIX®, CLAYTONE®, CLOISITE®, DISPERBYK®, DISPERPLAST®, FULACOLOR®, FULCAT®, GARAMITE®, GELWHITE®, HORDAMER®, LACTIMON®, LAPONITE®, MINERAL COLLOID®, MINERPOL®, NANOBYK®, OPTIBENT®, OPTIFLO®, OPTIGEL®, PAPERBYK®, PERMONT®, POLYAD®, PRIEX®, PURE THIX®, RECYCLOBLEND®, RECYCLOBYK®, RECYCLOSSORB®, RECYCLOSTAB®, RHEOBYK®, RHEOCIN®, RHEOTIX®, SCONA®, SILBYK®, TIXOGEL®, VISCOBYK® and Y 25® are registered trademarks of the BYK group.

The information herein is based on our present knowledge and experience. The information merely describes the properties of our products but no guarantee of properties in the legal sense shall be implied. We recommend testing our products as to their suitability for your envisaged purpose prior to use. No warranties of any kind, either express or implied, including warranties of merchantability or fitness for a particular purpose, are made regarding any products mentioned herein and data or information set forth, or that such products, data or information may be used without infringing intellectual property rights of third parties. We reserve the right to make any changes according to technological progress or further developments.

This issue replaces all previous versions – Printed in Germany